

2019年3月期決算説明会

2019年5月27日



日本電設工業株式会社

I . 会社概要	2
II . 2019年3月期決算概要	3
III . 部門別概況	9
IV . 2020年3月期業績予想	25
V . 日本電設3ヶ年経営計画2018	31
VI . 配当の推移	37

4本の柱で全国に事業展開

- 鉄道電気工事におけるリーディングカンパニー
- 技術と信頼で創立から77年
- JR東日本との強固な関係

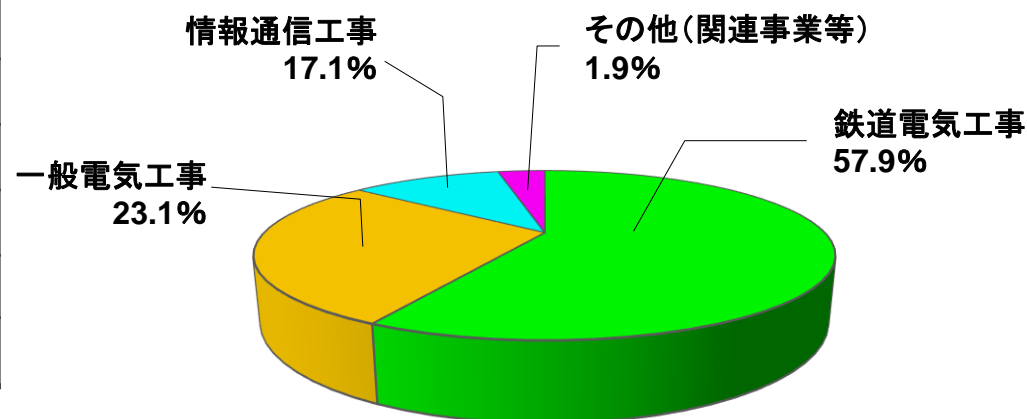
部門別売上高構成額

(単位:百万円)

4本の柱 (部門)	2019年3月期 売上高	うち、JR東日本に 対する売上高
鉄 道 電 気 工 事	105,545	86,136
一 般 電 気 工 事	42,195	2,316
情 報 通 信 工 事	31,207	17,666
その他(関連事業等)※	3,516	55
合計	182,464	106,174(58.2%)

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

部門別売上高構成比率



Ⅱ. 2019年3月期決算概要

■決算のポイント【受注高・売上高・繰越高は過去最高】

- ・受注高は1,998億円で大幅に増加、売上高は1,825億円となり2期連続の増収
- ・経常利益は高水準の利益率(8.7%)を維持し、計画を達成
- ・次期繰越高は好調な受注を背景に大幅に増加

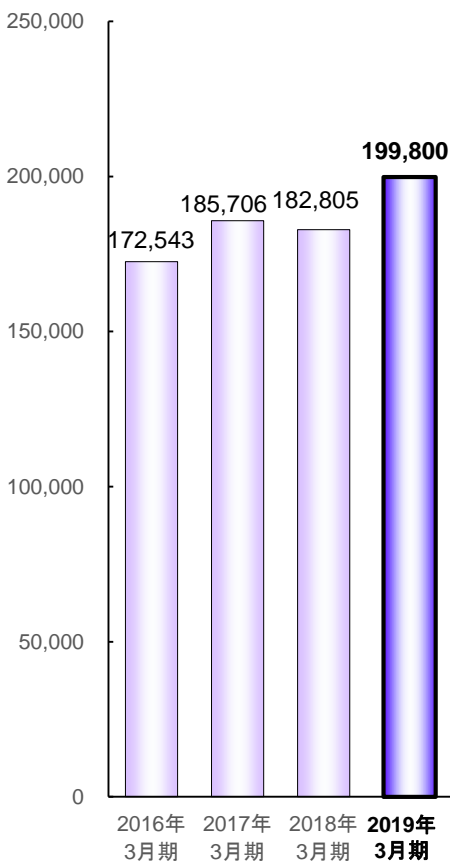
(())は売上高比率、単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	対前期比	
受注高	182,805	199,800	9.3%	16,995
売上高	178,938	182,464	2.0%	3,526
売上原価	(84.4%) 151,011	(84.5%) 154,132	2.1%	3,121
売上総利益	(15.6%) 27,926	(15.5%) 28,332	▲0.1P	405
販売費及び一般管理費	(7.3%) 13,052	(7.4%) 13,481	3.3%	429
営業利益	(8.3%) 14,874	(8.1%) 14,851	▲0.2P	▲23
営業外損益	(1.0%) 1,798	(0.5%) 975	▲45.7%	▲822
経常利益	(9.3%) 16,673	(8.7%) 15,826	▲0.6P	▲846
特別損益	(▲0.0%) ▲38	(▲0.1%) ▲110	—	▲71
親会社株主に帰属する 当期純利益	(6.0%) 10,813	(5.4%) 9,823	▲0.6P	▲989
次期繰越高	150,830	170,403	13.0%	19,573

(単位:百万円)

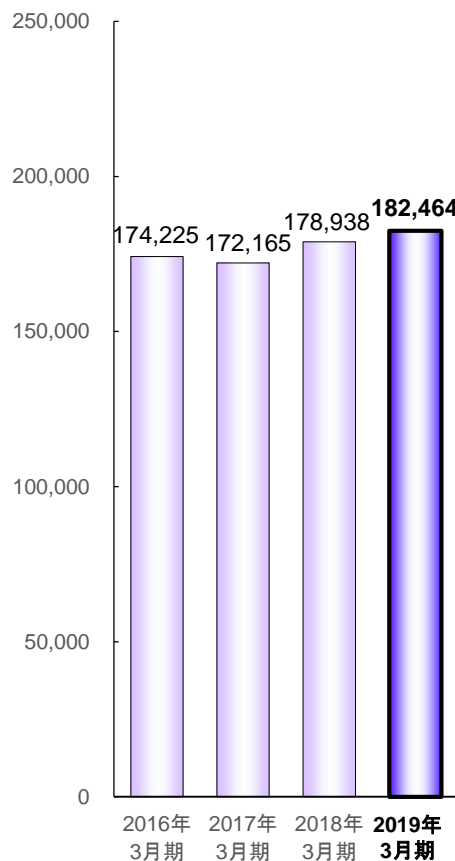
受注高

対前期比
+170億円



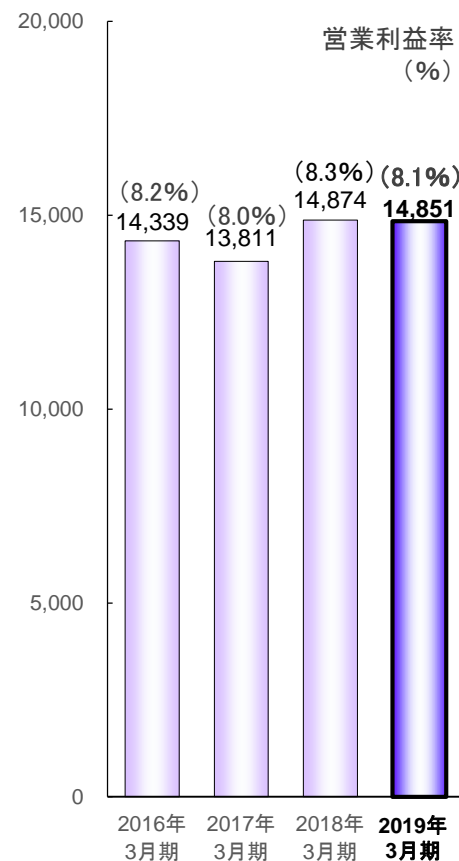
売上高

対前期比
+35億円



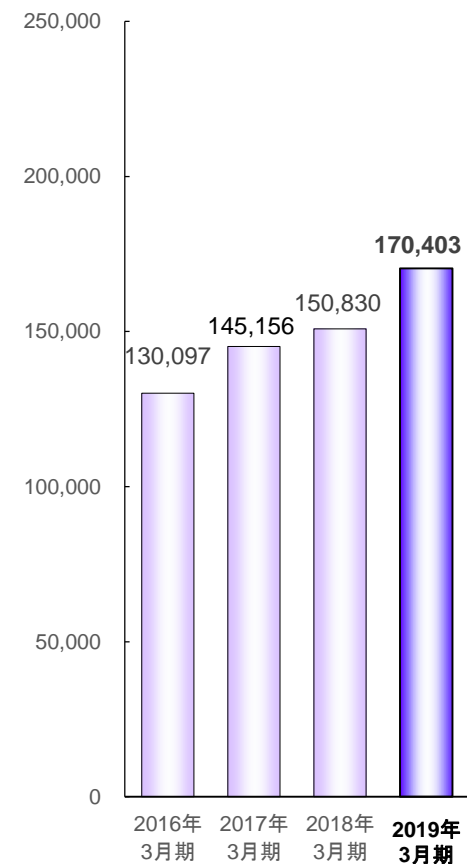
営業利益

対前期比
▲0.2億円



次期繰越高

対前期比
+196億円

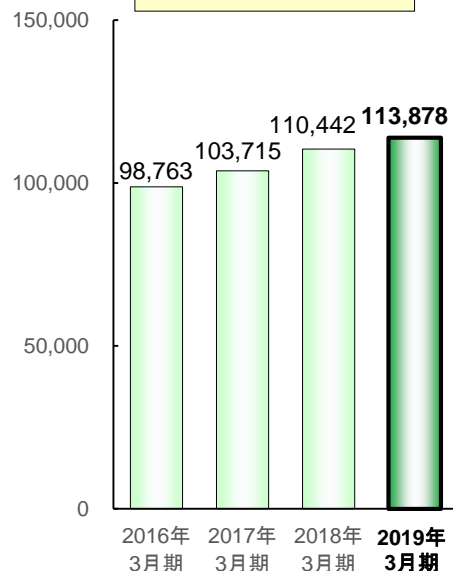


受注高・売上高・繰越高は過去最高

(単位:百万円)

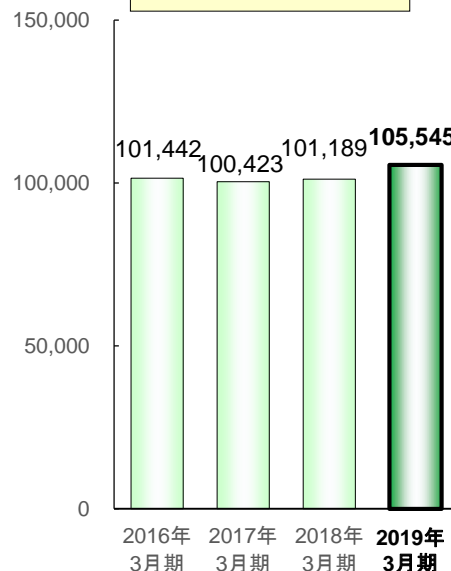
受注高

対前期比
+34億円



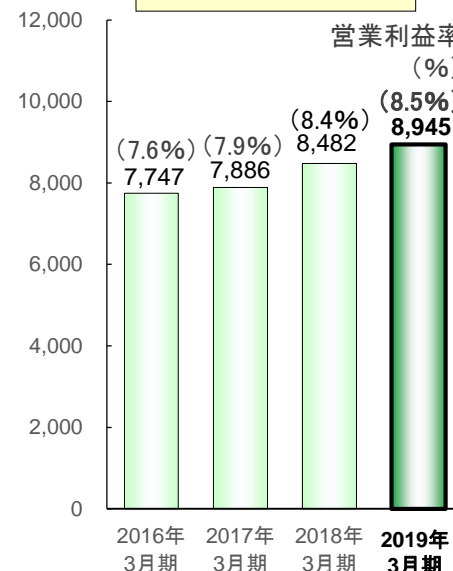
売上高

対前期比
+44億円



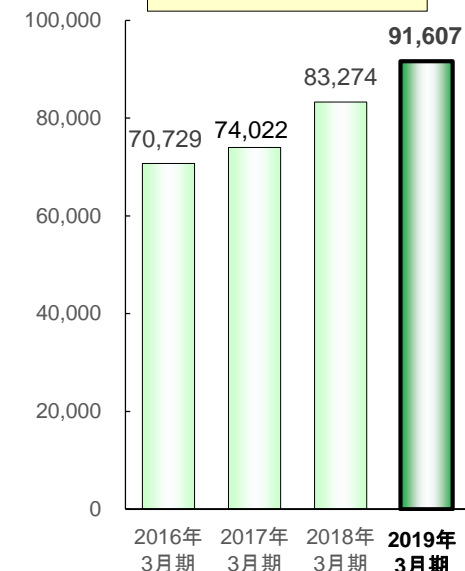
営業利益

対前期比
+5億円



次期繰越高

対前期比
+83億円



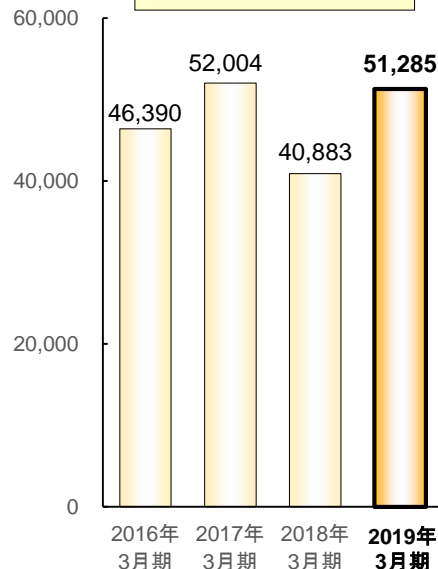
■決算のポイント

- ・受注高はJR東日本および公民鉄事業者からの受注が好調であったため増加
- ・売上高は施工が順調に推移したことにより増加
- ・営業利益は豊富な繰越工事を背景とした効率的な施工により増加
- ・次期繰越高は好調な受注を背景に増加

(単位:百万円)

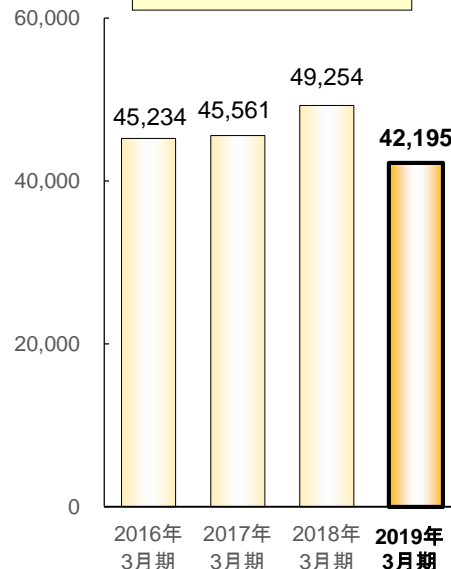
受注高

対前期比
+104億円



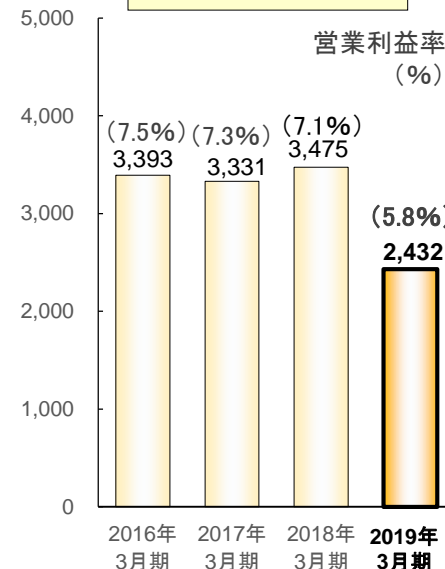
売上高

対前期比
▲71億円



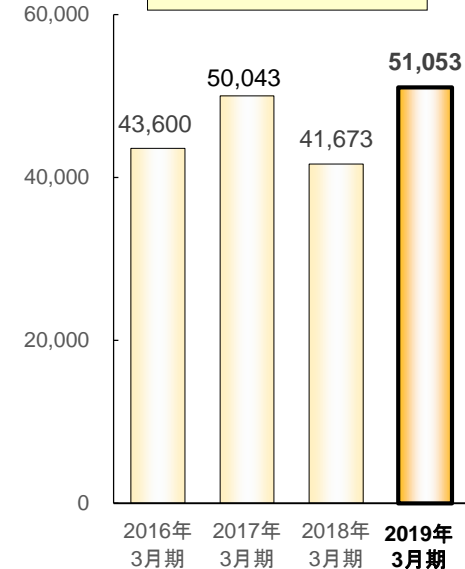
営業利益

対前期比
▲10億円



次期繰越高

対前期比
+94億円



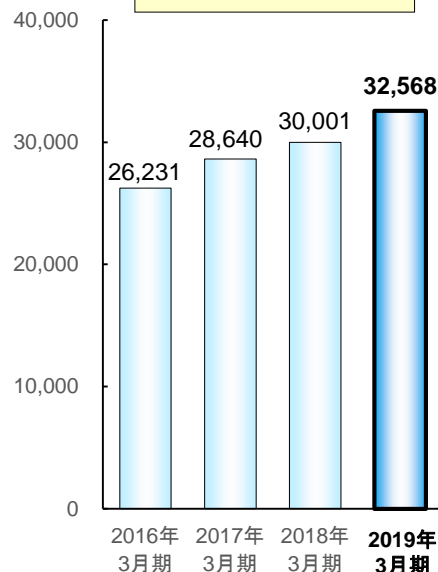
■決算のポイント

- ・受注高はJR東日本、官公庁、民間からの受注が好調であったため増加
- ・売上高は前期に大型工事の完成が集中したことによる反動などにより減少
- ・営業利益は売上高の反動減などにより減少
- ・次期繰越高は好調な受注を背景に大幅に増加

(単位:百万円)

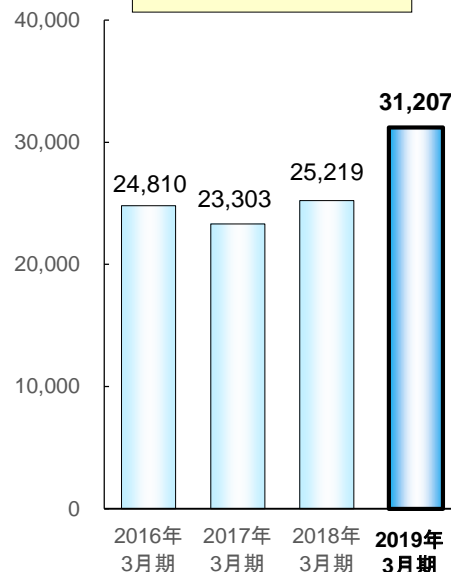
受注高

対前期比
+26億円



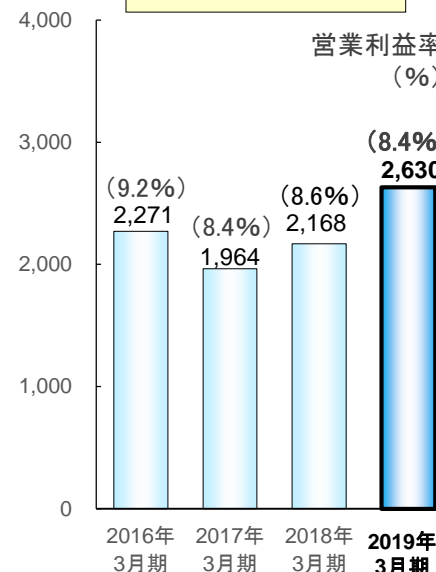
売上高

対前期比
+60億円



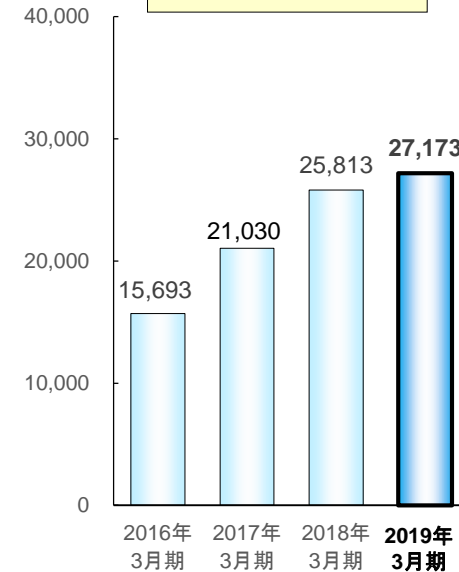
営業利益

対前期比
+5億円



次期繰越高

対前期比
+14億円



■決算のポイント

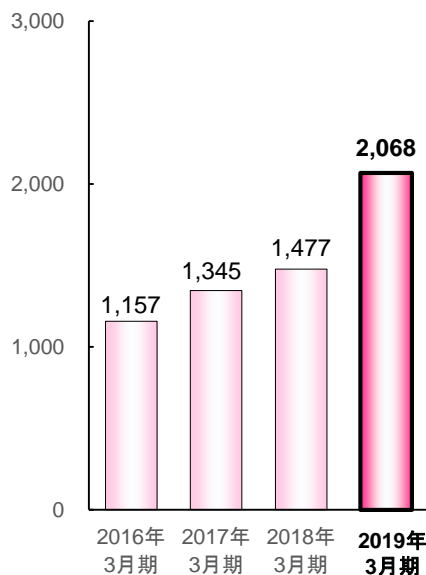
- ・受注高は列車無線やモバイル関連工事の受注が好調であったため増加
- ・売上高は不感地対策工事やネットワーク工事が進捗したことにより増加
- ・営業利益は売上高が増えたことにより増加
- ・次期繰越高は好調な受注を背景に増加

その他(関連事業等)の実績

(単位:百万円)

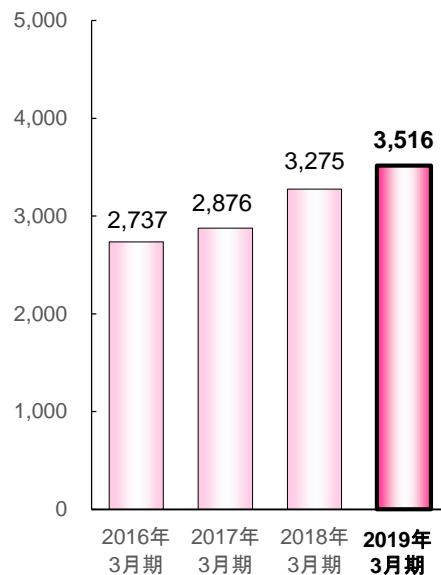
受注高

対前期比
+6億円



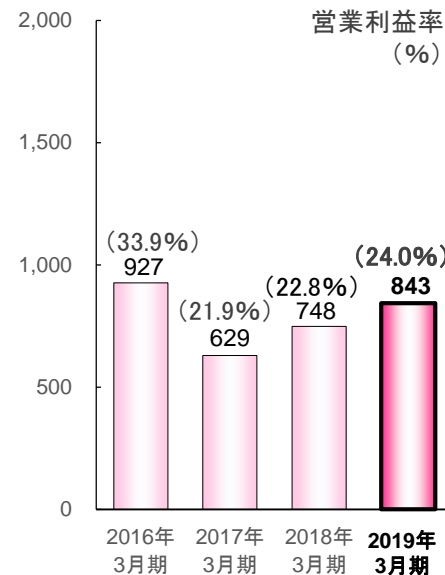
売上高

対前期比
+2億円



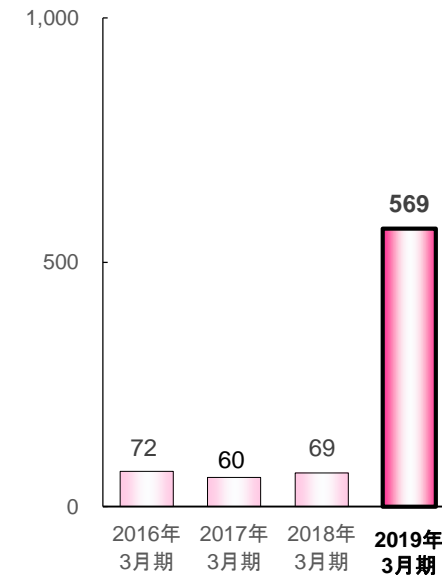
営業利益

対前期比
+0.9億円



次期繰越高

対前期比
+5億円



■決算のポイント

- ・売上高は不動産賃貸および調査・設計業務等の売上が増えたため増加
- ・営業利益は売上増に伴い増加

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

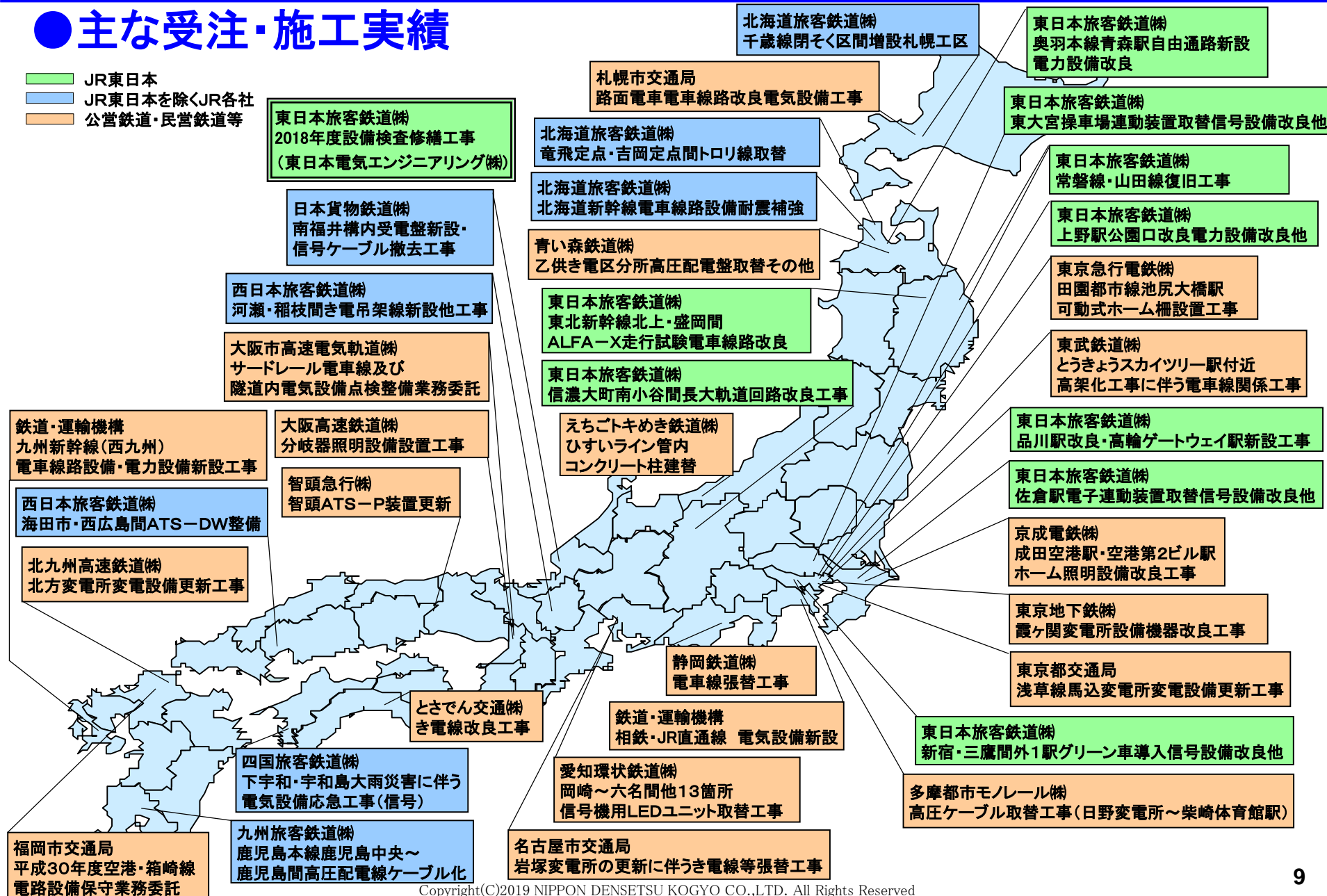


Ⅲ. 部門別概況

鉄道電気工事の概況

● 主な受注・施工実績

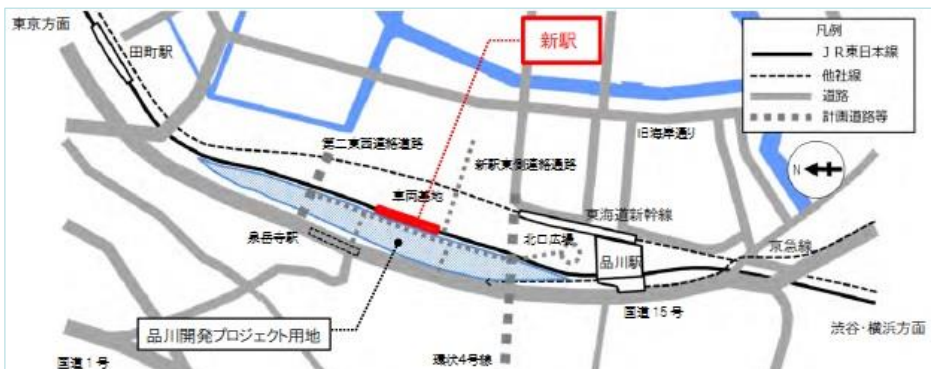
- JR東日本
- JR東日本を除くJR各社
- 公営鉄道・民営鉄道等



鉄道電気工事の概況

●品川駅改良・高輪ゲートウェイ駅新設工事

2011年より品川駅構内の駅改良工事、線路切換工事、「高輪ゲートウェイ駅」新設工事等が行われており、全業種の電気工事を担当している。



品川開発プロジェクト配置図 東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

●駅改良工事

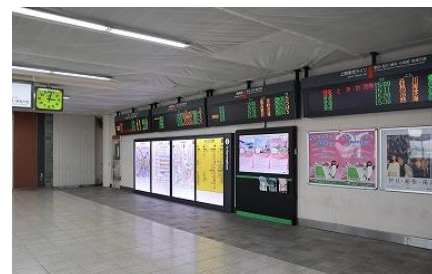
バリアフリー化や混雑緩和を目的としたコンコース拡幅などの駅サービス機能の強化や省エネ対応に伴う照明設備のLED化等の改良工事を行っており、当社は電気工事を担当している。



東京駅



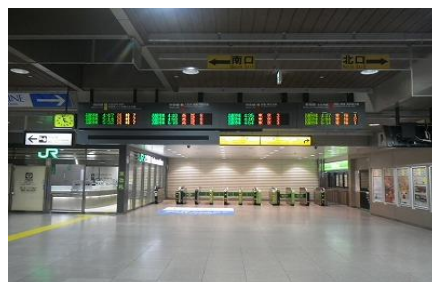
横浜駅



上野駅



蒲田駅



立川駅



東小金井駅

高輪ゲートウェイ駅工事の様子

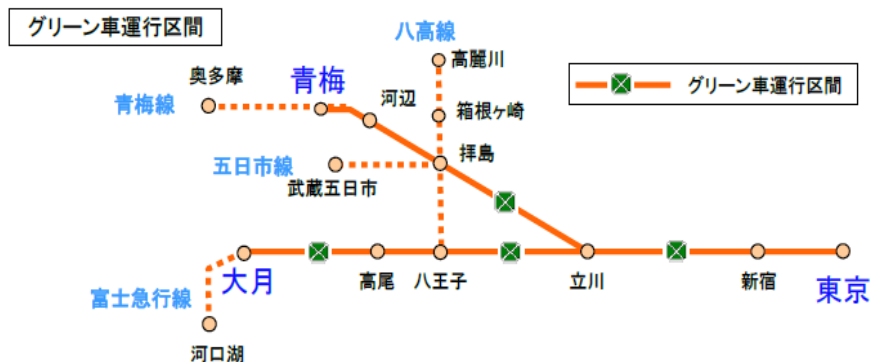
今後の予定

- ・2019年度 京浜東北線(大宮方面行)および山手線(内回り・外回り)線路切換
- ・2020年春頃 新駅開業
- ・2024年度頃 街びらき

鉄道電気工事の概況

●中央快速線等へのグリーン車サービス開始に向けて

2023年度末のサービス開始に向け、駅や信号設備等の改修が行われており、当社も信号改良工事を始めとして各種工事を施工中。今後も更なる受注に向けて営業活動を行っていく。



東日本旅客鉄道プレス資料より

●鉄道電気設備の老朽化対策

鉄道電気設備の経年劣化に伴う、電力設備や信号設備の改修等を担当している。

既存設備の改修工事に加え、耐震化や長寿命化、メンテナンスの省力化を見据えた大規模改修、システム更新工事などの需要も高まってきており、プロジェクトへの参画を通じて鉄道の安全・安定輸送の確保に貢献していく。

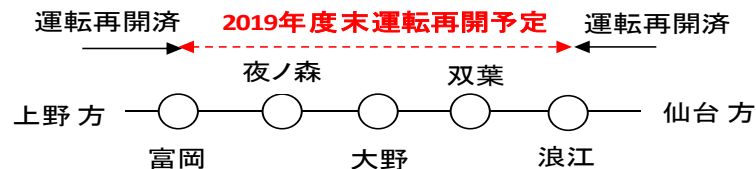
●災害復旧工事

東日本大震災(JR東日本)

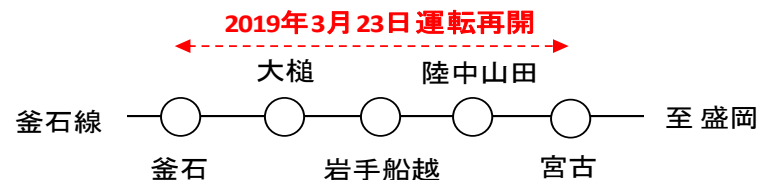
震災により流出・倒壊した電化柱・駅舎・踏切・通信ケーブル等に関する電気設備の工事を施工中。

山田線(岩手県)は、釜石・宮古間55.4kmの復旧工事が終了し、3月23日に三陸鉄道へ移管の上、リアス線(久慈～宮古～釜石～盛 163km)として運転再開となった。

<常磐線>



<山田線(三陸鉄道リアス線)>



常磐線双葉・浪江間(高瀬踏切)



山田線(三陸鉄道リアス線)
陸中山田駅

●災害復旧工事

西日本地区豪雨(JR西日本・JR四国)



山陽本線 八本松・瀬野間



山陽本線 八本松・瀬野間



呉線 吉名・安芸津間



芸備線 白木山・狩留家間
(2019年秋頃 復旧予定)

西日本旅客鉄道㈱社長感謝状受領



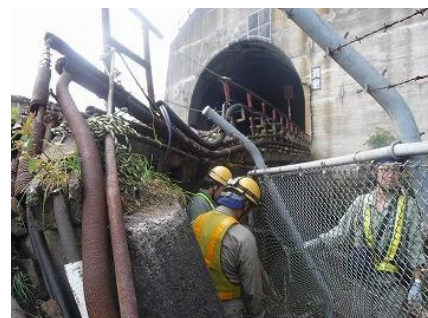
予讃線 伊予吉田駅構内



予讃線 下宇和・立間間

四国旅客鉄道㈱社長感謝状受領

北海道胆振東部地震(JR北海道)



室蘭本線 豊浦・洞爺間



室蘭本線 豊浦・洞爺間

北海道旅客鉄道㈱社長感謝状受領

大阪北部地震(JR貨物・大阪高速鉄道)



大阪貨物ターミナル付近
日本貨物鉄道㈱社長感謝状受領



大阪モノレール 千里中央・山田間
大阪高速鉄道㈱社長感謝状受領

●公民鉄工事

受注拡大に向けて公民鉄事業者から工事計画の情報収集と営業戦略の策定を行い全国的に営業展開している。

受注・売上高実績

(単位: 億円)

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
受注高	83	71	102	110
売上高	77	85	91	82

●相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線

当社は鉄道・運輸機構から発注された相鉄・JR直通線の全業種(電車線・電灯電力・通信・信号)の工事や各鉄道事業者が発注する接続線関連工事を施工している。



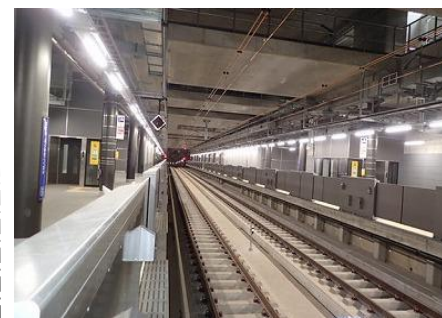
相模鉄道(株)プレス資料より



東京地下鉄(株)
日本橋駅改装に伴う電気設備改良工事
東京地下鉄(株)プレス資料より



東京急行電鉄(株)
田園都市線池尻大橋駅
可動式ホーム柵設置工事



羽沢横浜国大駅内部の様子



今後の予定

- ・2019年11月30日 相鉄・JR直通線開業予定
- ・2022年度下期 相鉄・東急直通線開業予定

開業時期は東日本旅客鉄道(株)および相模鉄道(株)プレス資料より

鉄道電気工事の概況

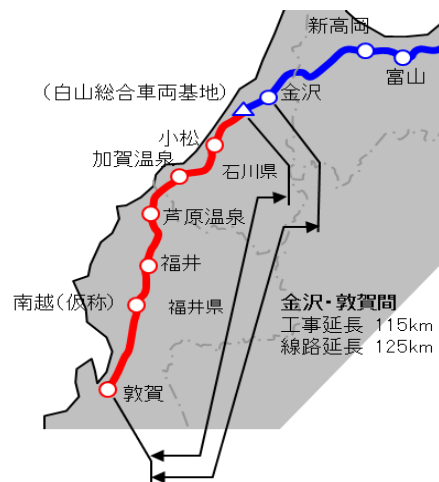
●整備新幹線延伸計画

九州新幹線、北陸新幹線、北海道新幹線の延伸が計画されており、九州新幹線(西九州ルート)の電車線路設備、電力設備、通信設備の工事を受注した。

今後、北陸新幹線(金沢～敦賀)の入札が始まることから、引き続き受注に向けて、鋭意努力していく。



九州新幹線(西九州ルート)
武雄温泉～長崎間建設区間



北陸新幹線
金沢～敦賀間建設区間

鉄道・運輸機構ホームページより

今後の予定

・2022年度開業予定

九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)

北陸新幹線(金沢～敦賀)

・2030年度末開業予定

北海道新幹線(新函館北斗～札幌)

●宇都宮市・芳賀町LRT整備事業

JR宇都宮駅東側から芳賀・高根沢工業団地付近に向けて優先整備されることとなっており、変電所設備の新築工事を受注した。

引き続き更なる受注に向けて、鋭意努力していく。

※LRTは、ライト・レール・トランジットの略で交通渋滞の緩和、環境や高齢化問題などの解消を図るために導入が進められている新しい都市交通システムです。



宇都宮市ホームページより

今後の予定

・2022年3月 優先整備区間開業予定

●その他のプロジェクト工事

【JR東日本 インテグレート架線第6期工事】



※写真は東海道本線蒲田・大森間

【JR西日本 おおさか東線西吹田・野江間
電気設備新設工事】



3月16日 新大阪～久宝寺間 全線開業

【JR東日本 東北新幹線ALFA-X
走行試験電車線路改良工事】



東日本旅客鉄道(株)プレス資料より

【横浜シーサイドライン
金沢八景延伸事業に伴う鉄道電気関係工事】

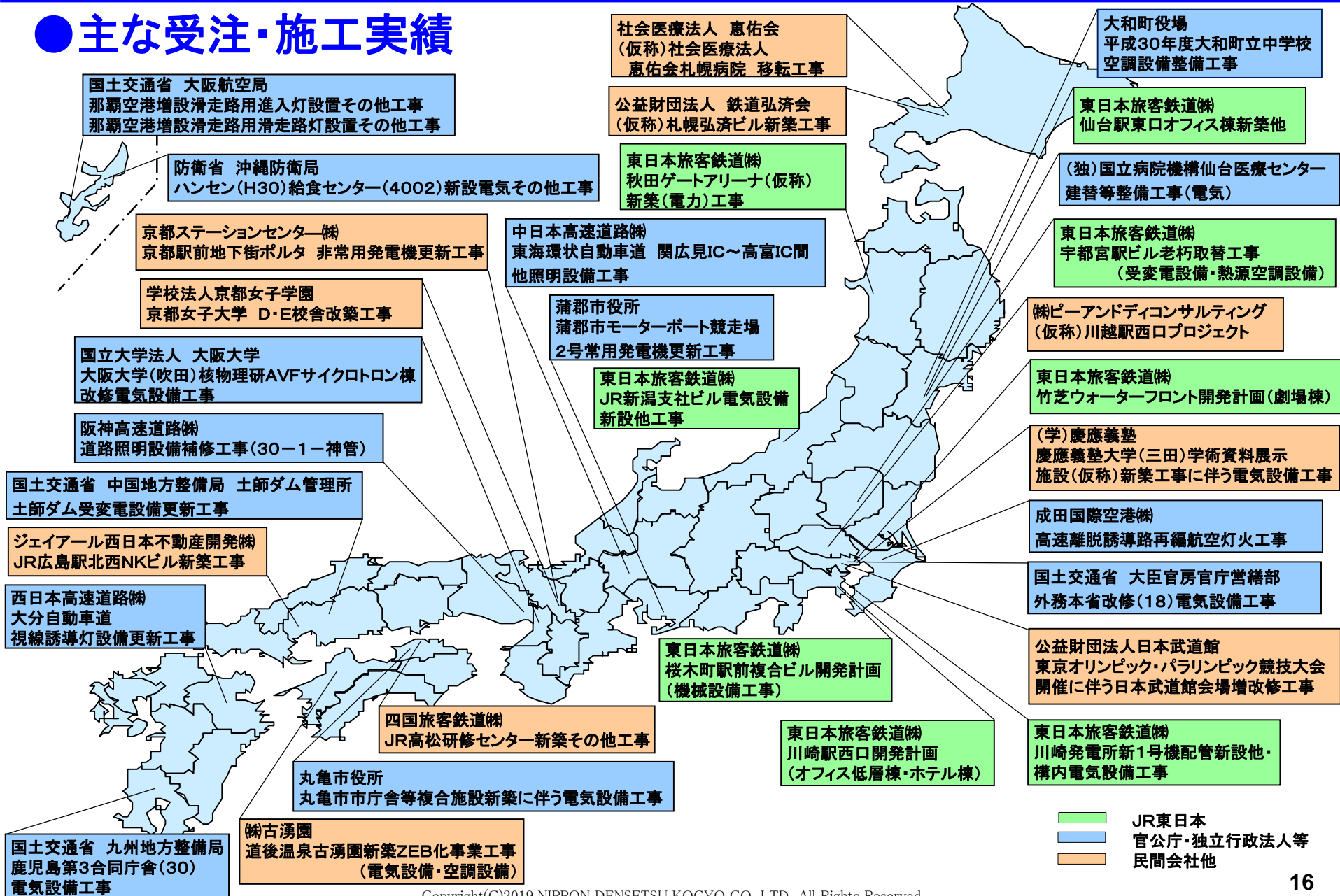


3月31日 金沢八景 新駅開業



一般電気工事の概況

●主な受注・施工実績



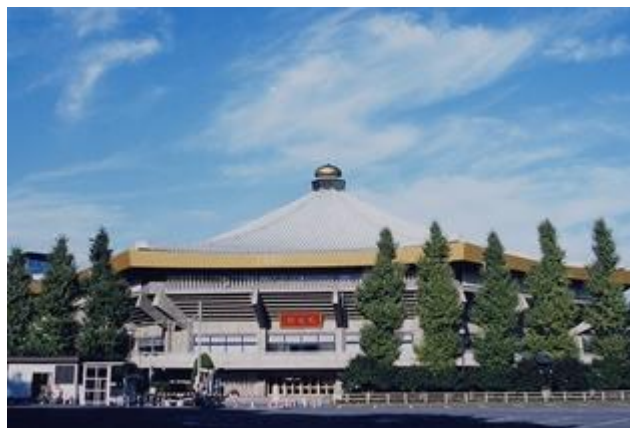
●主なプロジェクト工事

【川崎駅西口開発計画 (オフィス低層棟・ホテル棟)】



2021年春 全体開業予定 ※右側の建物がホテル棟
東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

【東京オリンピック・パラリンピック競技大会 開催に伴う日本武道館会場増改修工事】



2020年6月 完成予定

【仙台駅東口オフィス棟新築他】



2020年度冬完成予定
東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

【(仮称)川越駅西口プロジェクト】



2020年4月完成予定

川越市ホームページより

一般電気工事の概況

●主なプロジェクト工事

【那覇空港増設滑走路用進入灯設置その他工事
・滑走路灯設置その他工事】



2020年3月供用予定 内閣府 沖縄総合事務局ホームページより

【丸亀市市庁舎等複合施設新築
に伴う電気設備工事】



2020年度完成予定 画像提供: 丸亀市役所

【大分自動車道視線誘導灯設備更新工事】



西日本高速道路(株)九州支社長感謝状受領
2019年3月供用開始

【外務本省改修(18)電気設備工事】



2020年3月完成予定

空調・衛生工事

【宇都宮駅ビル老朽取替工事 (受変電設備・熱源空調設備)】



熱源空調設備 2019年12月完成予定
受変電設備 2020年9月完成予定

【桜木町駅前複合ビル開発計画 (機械設備工事)】



2020年度完成予定

東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

【道後温泉古湧園新築ZEB化事業工事 (電気設備・空調設備)】



松山市初のZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)実証事業
2019年8月完成予定

【川崎発電所新1号機配管新設他・ 構内電気設備工事】



新1号機 2021年運転開始予定

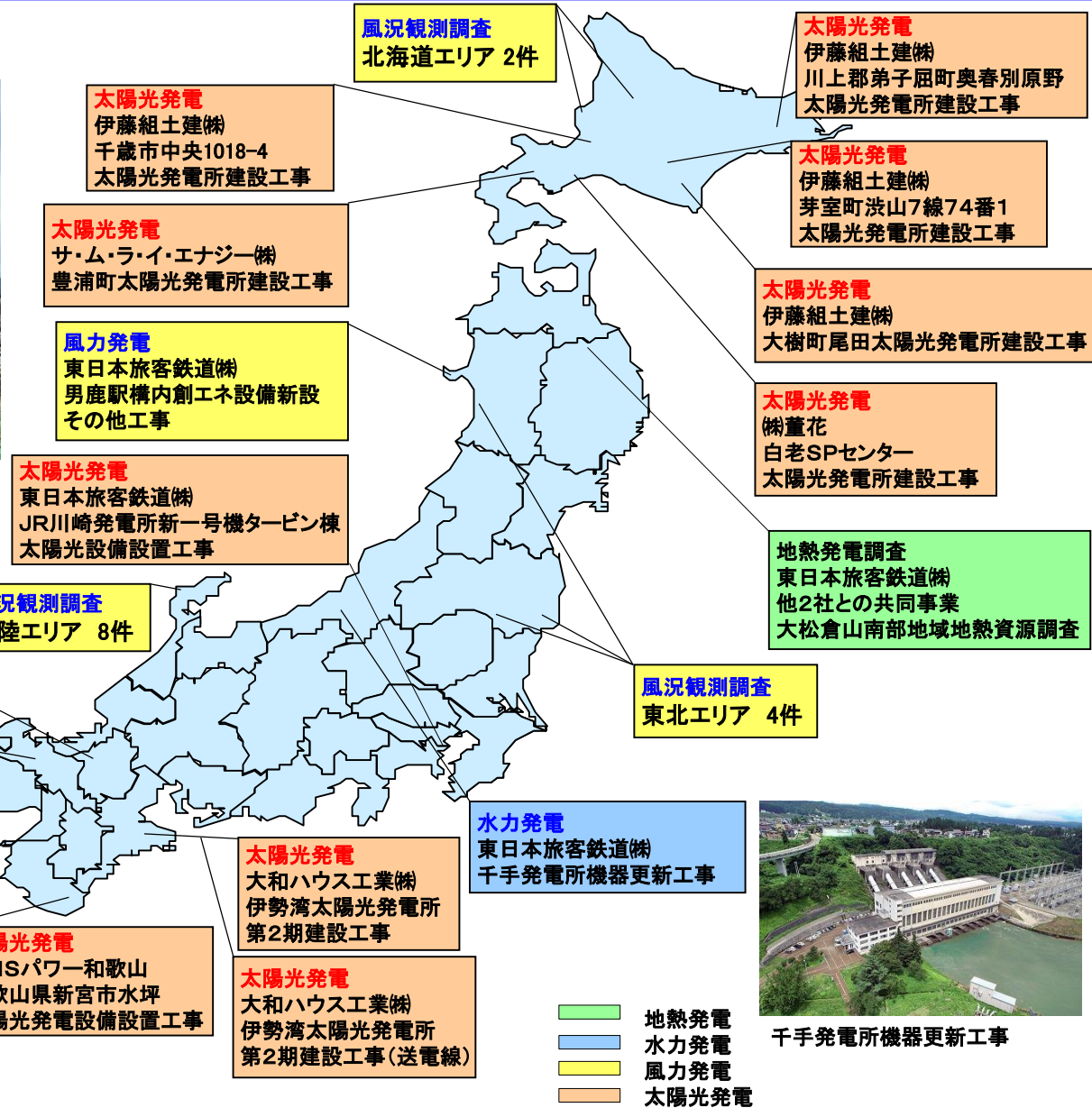


再生可能エネルギー工事の概況

●主な受注・施工実績



男鹿駅構内創エネ設備新設その他工事

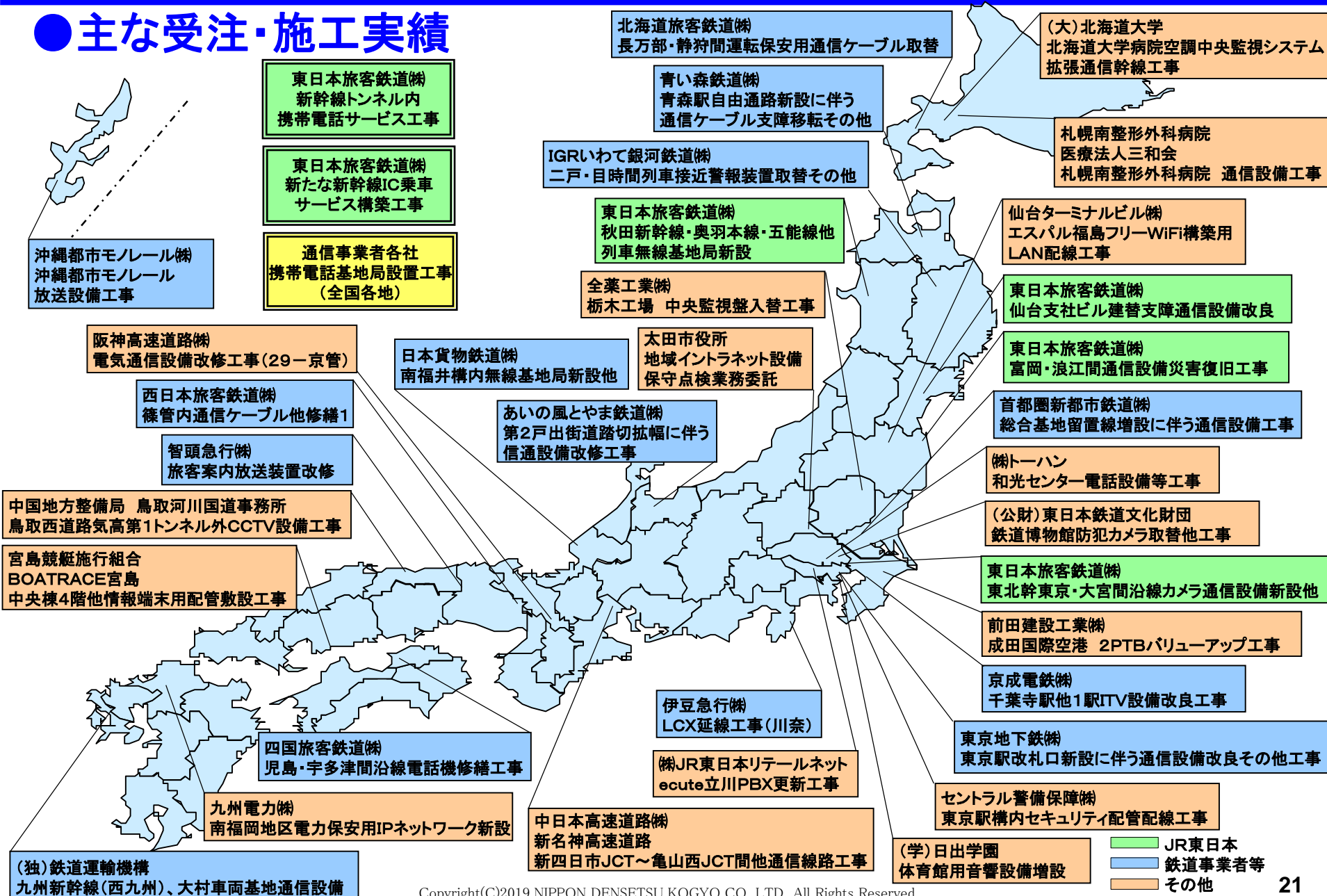


千手発電所機器更新工事

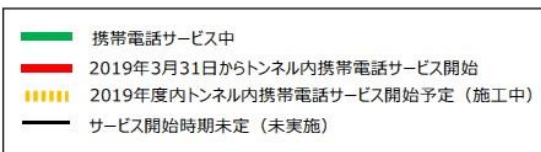


情報通信工事の概況

●主な受注・施工実績



●新幹線トンネル内携帯電話サービス工事

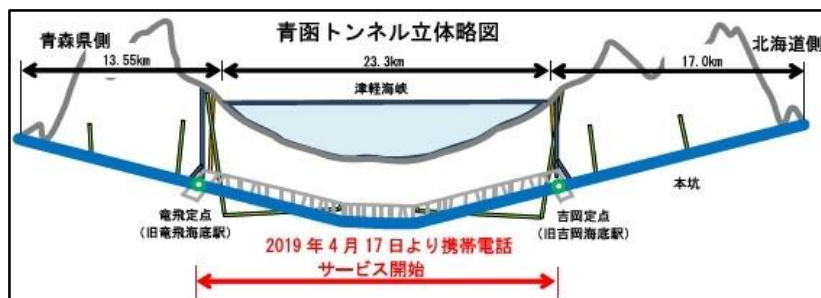


上越・北陸新幹線



東北・山形・秋田新幹線

東日本旅客鉄道㈱プレス資料より



北海道新幹線

北海道旅客鉄道㈱プレス資料より

●新たな新幹線IC乗車サービス構築工事

駅の窓口や券売機に立ち寄ることなくチケットレスで新幹線に乗車できるサービスを施工中

※サービス開始時期：2019年度末予定



サービス提供区間

東北・北海道、上越、北陸、山形、秋田の各新幹線全区間の停車駅

東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

●新名神高速道路 新四日市JCT～亀山西JCT間 通信線路工事

光ケーブル等の通信線路の敷設や非常電話機の設置などの通信工事を施工

開通区間(約23km)



3月17日新四日市JCT～亀山西JCT間開業

中日本高速道路㈱ホームページより



四日市トンネル



鈴鹿PA～亀山西JCT間

中日本高速道路㈱名古屋支社長感謝状受領

●楽天モバイル携帯基地局工事

楽天モバイルの基地局新設工事(全国27,397局予定)が計画されており、関東地区で基地局工事を受注(2019年4月受注)。今後、全国で発注予定があるため、引き続き受注に向けて、鋭意努力していく。



●5G関連工事の受注獲得

2019年4月に各社に電波が割り当てられ、2020年にサービス開始が予定されている。

今後、各社は基地局設置工事などで、2024年度までに約1兆6千億円の設備投資を予定しているため、各種工事の受注獲得に向けて、営業活動を強化していく。

関連事業の概況

●保有不動産を有効活用した 賃貸マンション・賃貸オフィス事業

全国の主要都市で21棟・510戸の賃貸マンションを運営
(入居率95%)



ロータス黒砂台(千葉県千葉市)
2019年3月完成(学生マンション)



ロータス本陣通(愛知県名古屋市)
2019年8月完成予定



ロータス大和町(宮城県仙台市)
2019年11月完成予定



ロータス二葉の里(広島県広島市)
2018年2月完成

賃貸不動産	2019年3月期	2020年3月期(計画)
売上高	1,087百万円	1,112百万円

●新規事業

保有不動産を活用した新たな事業開発

- ・独身寮のリノベーションによる学生専用賃貸マンション事業の運営開始(「ロータス黒砂台」左記ご参照)

販売事業の収益力強化

- ・開発成果品の販売サイトによる販路拡大を推進
- ・エンドユーザーの利便性および商品の品揃えを充実させた新たな調達・販売システムの開発

●電気保安事業の拡大

当社施工物件等のお客様への提案営業の推進
(NDK総合サービス㈱)



JR新宿ミライナタワー
受変電設備点検業務



アトレ浦和West Area
受変電設備点検業務

IV. 2020年3月期業績予想

■業績予想のポイント【豊富な手持工事を背景に過去最高の売上】

- ・豊富な手持工事を背景に効率的な施工を推進して過去最高の売上高を達成
- ・高水準の利益率を維持して当期純利益103億円を目指す

(())は売上高比率、単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期予想	対前期比	
期首繰越高	150,830	170,403	13.0%	19,573
受注高	199,800	191,400	▲4.2%	▲8,400
売上高	182,464	191,200	4.8%	8,735
売上原価	(84.5%) 154,132	(84.8%) 162,090	5.2%	7,958
売上総利益	(15.5%) 28,332	(15.2%) 29,110	▲0.3P	777
販売費及び一般管理費	(7.4%) 13,481	(7.1%) 13,610	1.0%	128
営業利益	(8.1%) 14,851	(8.1%) 15,500	0.0P	648
営業外損益	(0.5%) 975	(0.5%) 900	▲7.8%	▲75
経常利益	(8.7%) 15,826	(8.6%) 16,400	▲0.1P	573
特別損益	(▲0.1%) ▲110	(－%) —	－P	110
親会社株主に帰属する 当期純利益	(5.4%) 9,823	(5.4%) 10,280	0.0P	456

2020年3月期業績予想

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
+24億円

受注高

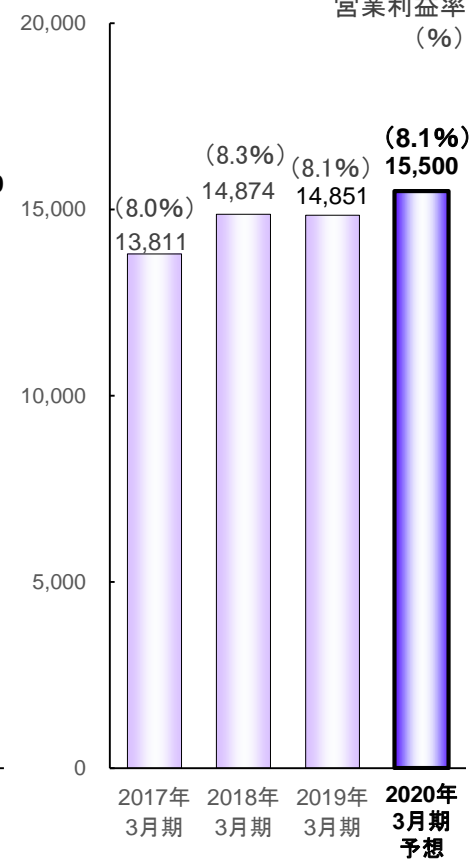
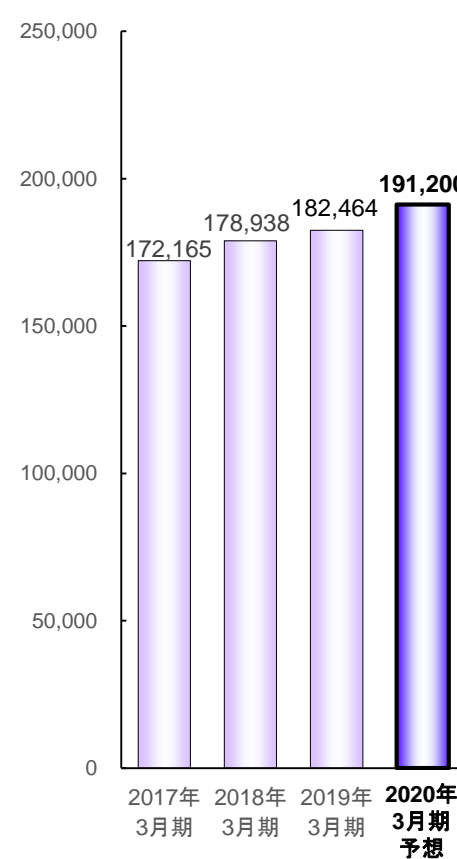
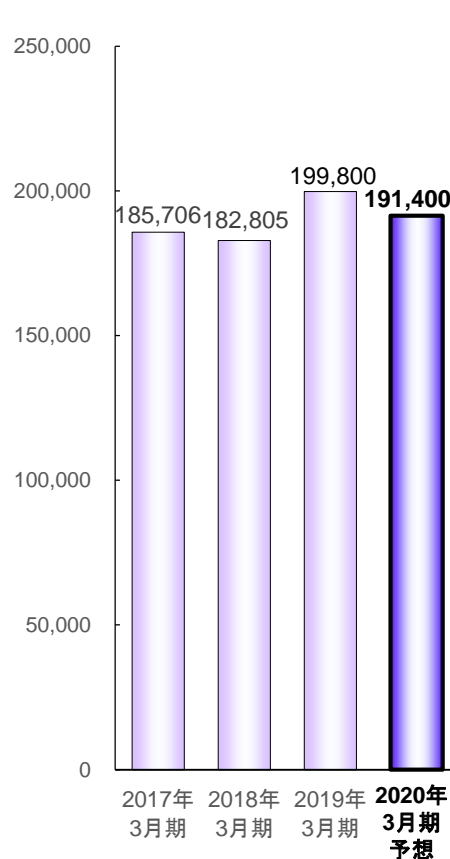
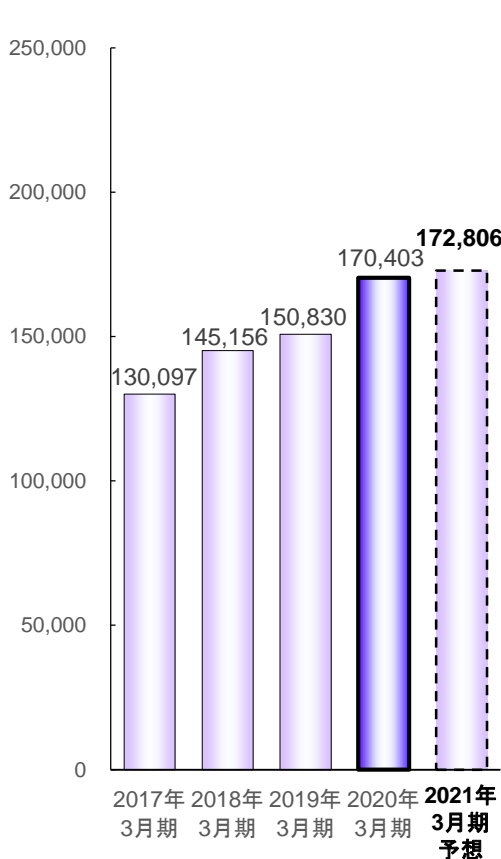
対前期比
▲84億円

売上高

対前期比
+87億円

営業利益

対前期比
+6億円

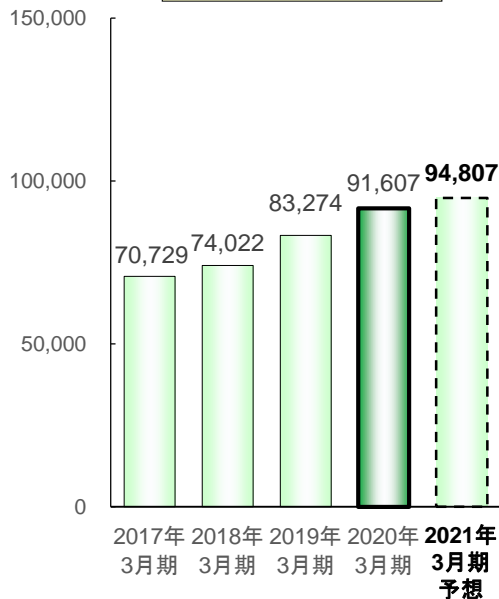


豊富な手持工事を背景に過去最高の売上

(単位:百万円)

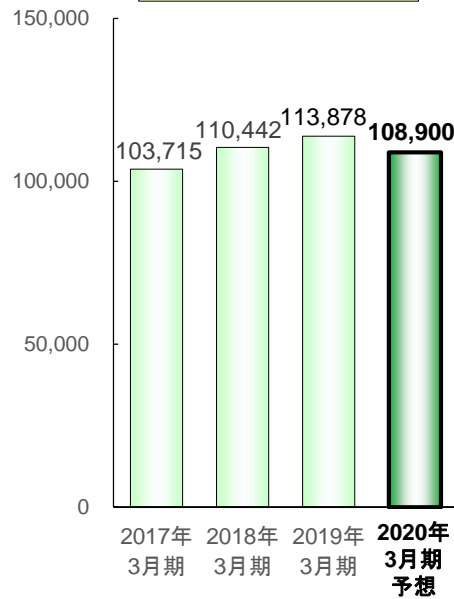
期首繰越高

対前期比
+32億円



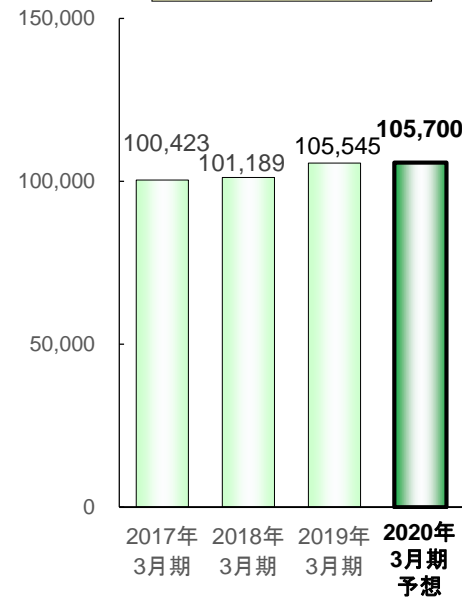
受注高

対前期比
▲50億円



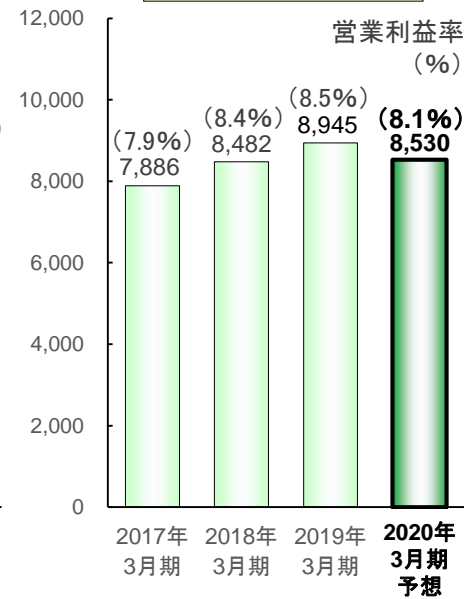
売上高

対前期比
+2億円



営業利益

対前期比
▲4億円



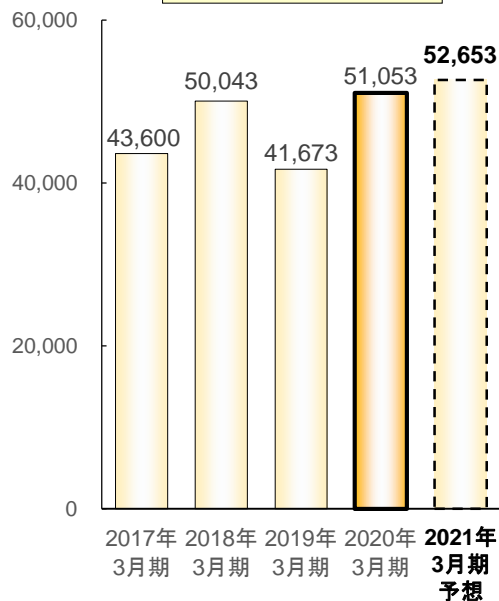
業績予想のポイント

JR各社、公民鉄事業者への積極的な営業展開により受注高を確保し、豊富な手持工事の効率的かつ確実な施工により高水準の売上高と利益率の維持を目指す。

(単位:百万円)

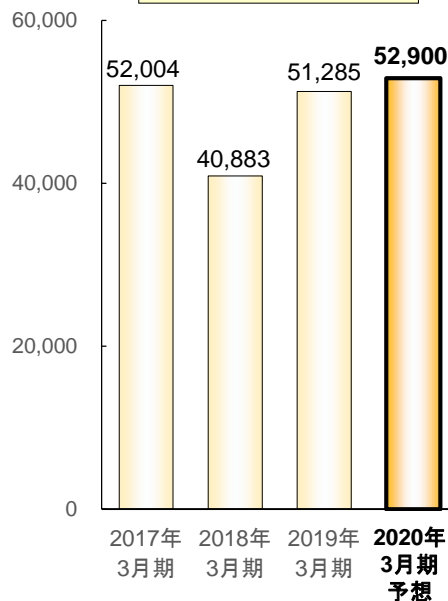
期首繰越高

対前期比
+16億円



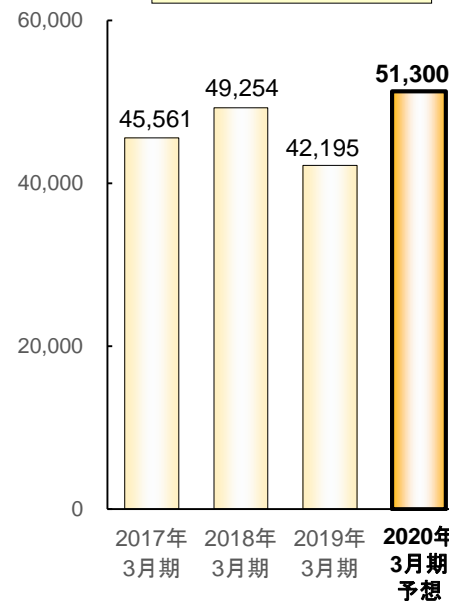
受注高

対前期比
+16億円



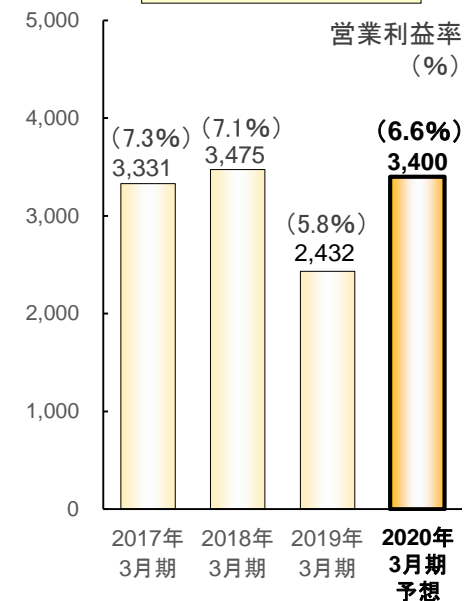
売上高

対前期比
+91億円



営業利益

対前期比
+10億円



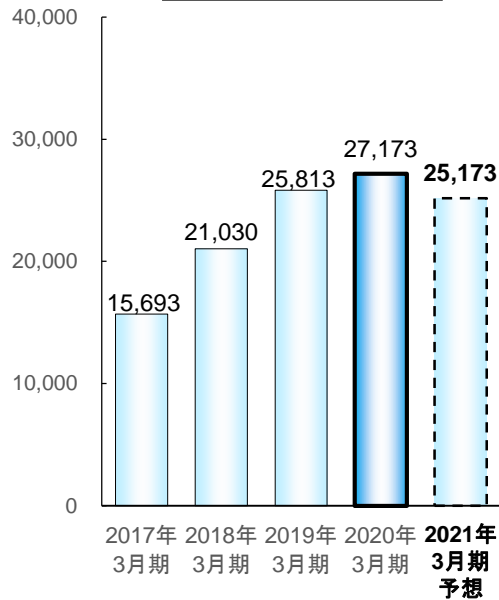
業績予想のポイント

積極的な営業展開により受注高のさらなる拡大を推進し、豊富な手持工事の効率的かつ確実な施工により売上高および利益の拡大を目指す。

(単位:百万円)

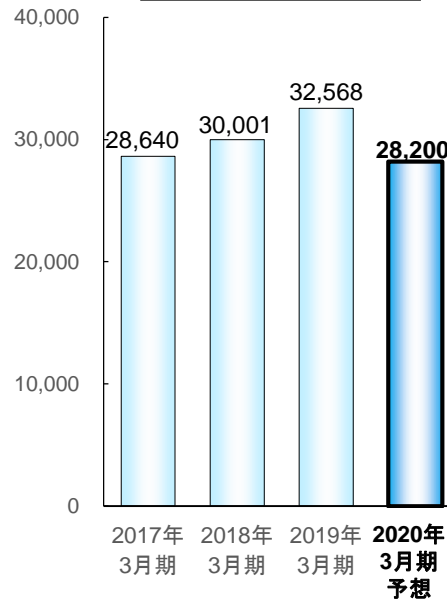
期首繰越高

対前期比
▲20億円



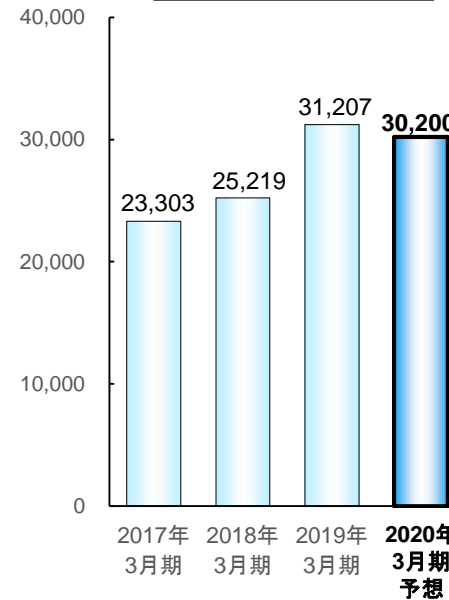
受注高

対前期比
▲44億円



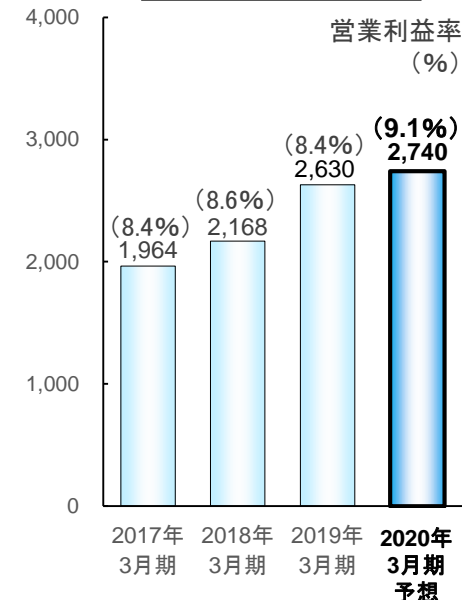
売上高

対前期比
▲10億円



営業利益

対前期比
1億円



■業績予想のポイント

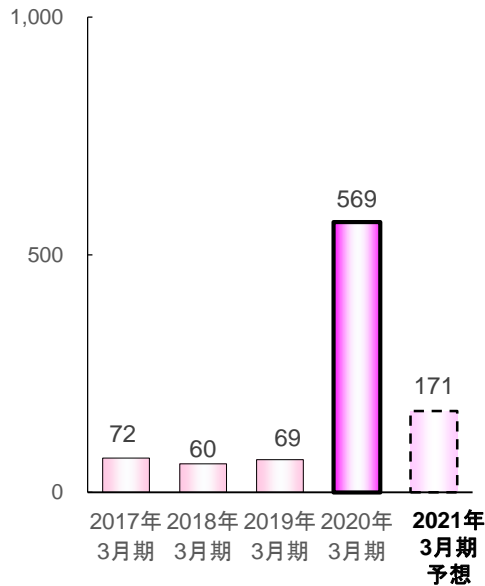
JR東日本および民間へのさらなる営業展開と携帯電話関係工事の受注確保に注力し、豊富な手持工事の効率的な施工により売上の確保と利益の拡大を目指す。

その他(関連事業等)の予想

(単位:百万円)

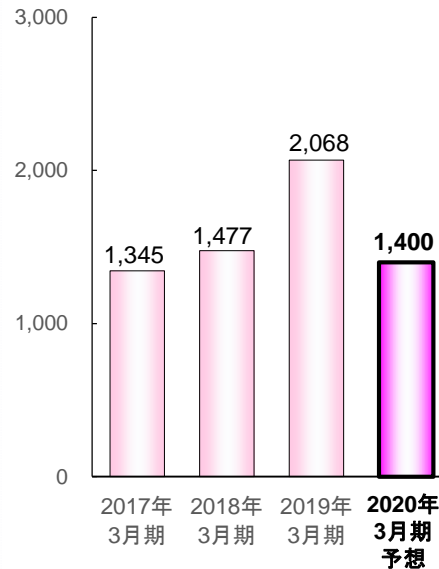
期首繰越高

対前期比
▲4億円



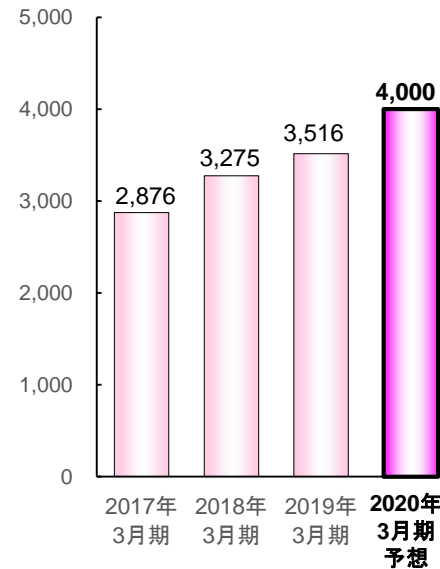
受注高

対前期比
▲7億円



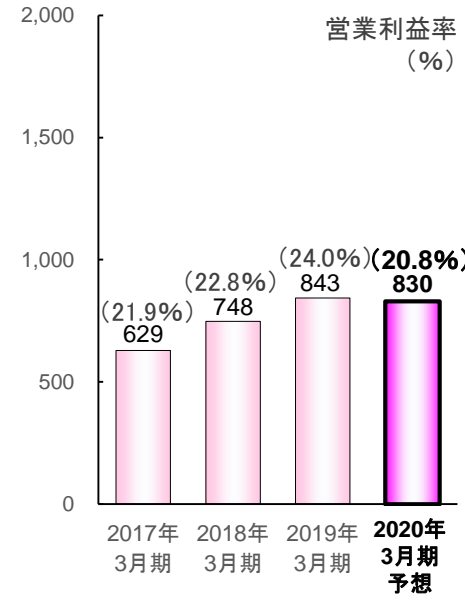
売上高

対前期比
+5億円



営業利益

対前期比
▲0.1億円



業績予想のポイント

安定した売上と利益の確保が見込まれる賃貸マンションの新築や保有不動産の有効活用、物品販売等の新規事業の創出に注力し売上増を目指す。

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

変革に挑戦

◇ 重点実施テーマ ◇

「安全・品質」

顧客の信頼を高め持続的成長へ

「組織の成長と連携による経営基盤強化」

NDKグループの総合力向上へ

「自ら考え行動する社員の育成」

人間力向上による企業価値の最大化へ

「働き方改革のさらなる推進」

働きがい、やりがいを感じ自信と誇りを持てる会社へ

(単位:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	2021年3月期
	予想	実績	予想	計画
受 注 高	185,400	199,800	191,400	193,900
売 上 高	185,000	182,464	191,200	195,000
営 業 利 益	15,000	14,851	15,500	15,700
経 常 利 益	15,800	15,826	16,400	16,530
営 業 利 益 率	8.1%	8.1%	8.1%	8.1%
経 常 利 益 率	8.5%	8.7%	8.6%	8.5%

※2019年4月26日に公表した業績予想は、公表時点で入手している情報により作成したものです。今後の受注動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表します。

※当社では、中期経営計画以外に単年度の経営計画を策定しており、2020年3月期の予想については、2019年3月期の業績等を考慮し策定しました。

表中、「計画」は中期経営計画を、「予想」は単年度の経営計画を指します。

◇安全は会社経営上の最重要課題

- ◇リスク管理型安全マネジメントの推進
- ◇NDK安全文化創造館を建設



NDK安全文化創造館(イメージ)
(2019年6月開館予定)



VRによる安全教育

◇技術力・技能の向上、施工体制強化

- ◇社員・協力会社社員の技術教育の充実
- ◇協力会社の若手社員育成と資格取得支援



中央学園(千葉県柏市)



電車線実習
(軌陸車を150台保有)

◇ZEB化事業の推進

- ◇ZEBプランナー登録(2018年2月)
- ◇Nearly ZEB対応の
自社ビル(NDK千葉ビル)を建設
- ◇顧客からの引き合いが増加、提案営業を推進



※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロ、またはマイナスの建築物

※Nearly ZEB(ニアリー・ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
ZEBに限りなく近い建築物として、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近付けた(正味75%以上の省エネ)建築物



NDK千葉ビル(イメージ)
(2019年11月完成予定)

◇働き方改革

◇生産性向上の取り組み

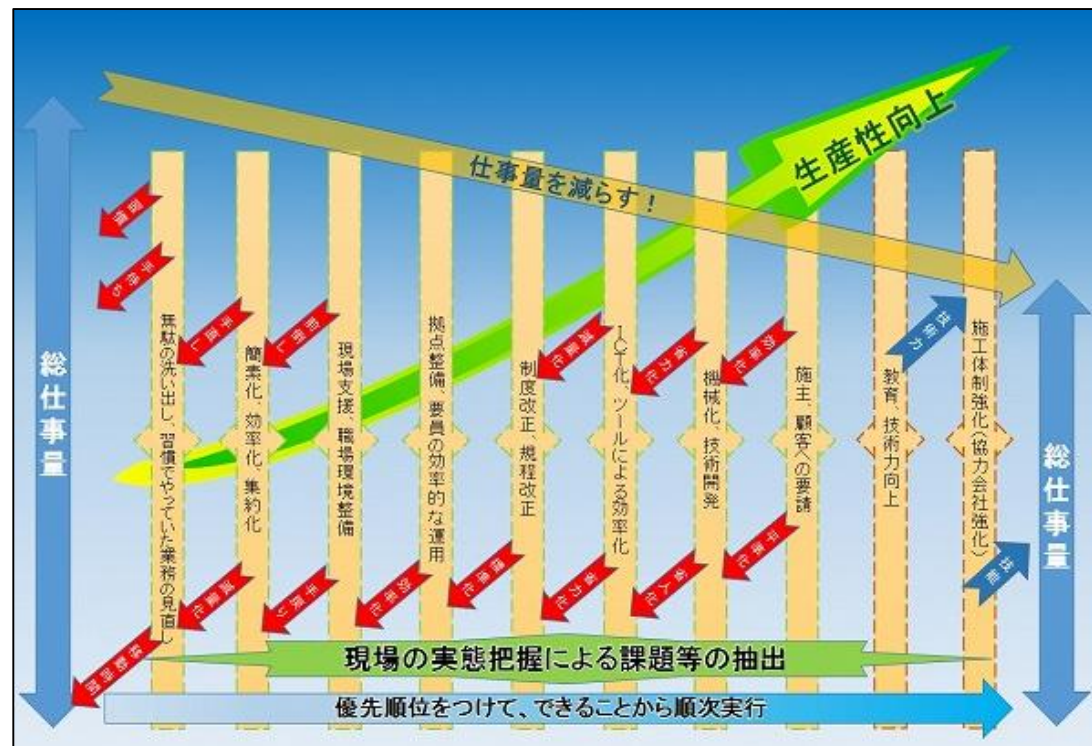
- ・タブレット端末を活用した図面共有
- ・リモートワーク環境の整備
- ・TV会議システム刷新による利用範囲拡大
- ・自動車運転者支援システムの導入
- ・沿線画像表示装置による現地調査の省力化
- ・ドローン活用に向けた研究開発
- ・電柱基礎新設の機械化

◇女性活躍推進

- ・女性社員を部下に持つ管理職研修
- ・経営幹部との意見交換

◇長時間労働是正・人事諸制度改正

- ・管理値を設定した時間外労働削減



生産性向上に向けた「10のフィルター」による推進



タブレット端末を活用した図面共有



TV会議システムの利用範囲拡大



ドローン活用に向けた研究開発

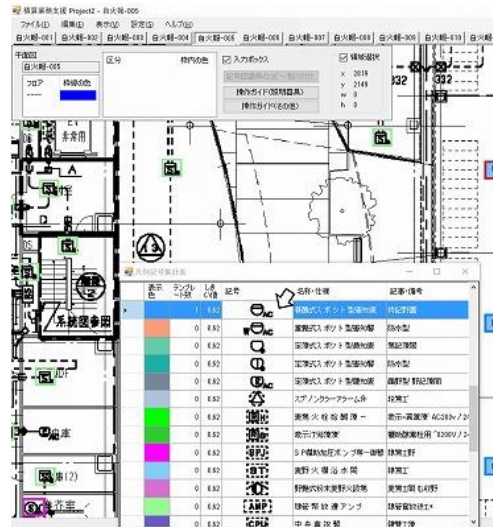


女性社員を部下に持つ管理職研修

●作業の効率化



【積算業務支援プログラム(ステップ2)】 特許出願中



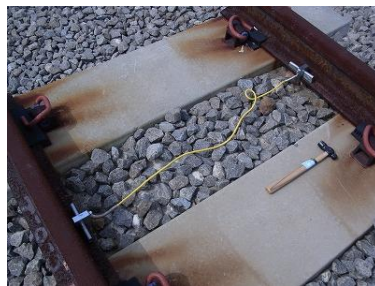
34

◇技術開発

●平成31年度 科学分野の文部科学大臣表彰受賞(創意工夫功労者賞)

【クサビ式軌道短絡器】

線路内の安全確保のために使用する軌道短絡器について、軽量でレール下部にクサビを打ち込むだけで確実に軌道短絡できる装置を開発



【架線移動機能付き曲線引き工具】

トロリ線張替え作業に使用していた工具(曲線引きフック)に滑車を設け、トロリ線の移動を容易に行なえる金具を開発



【二段階電圧検出機能付き交流電車線検電器】

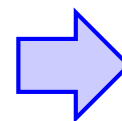
交流電車線路の停電作業における通常電圧と誘導電圧の判断支援用の検電器を開発



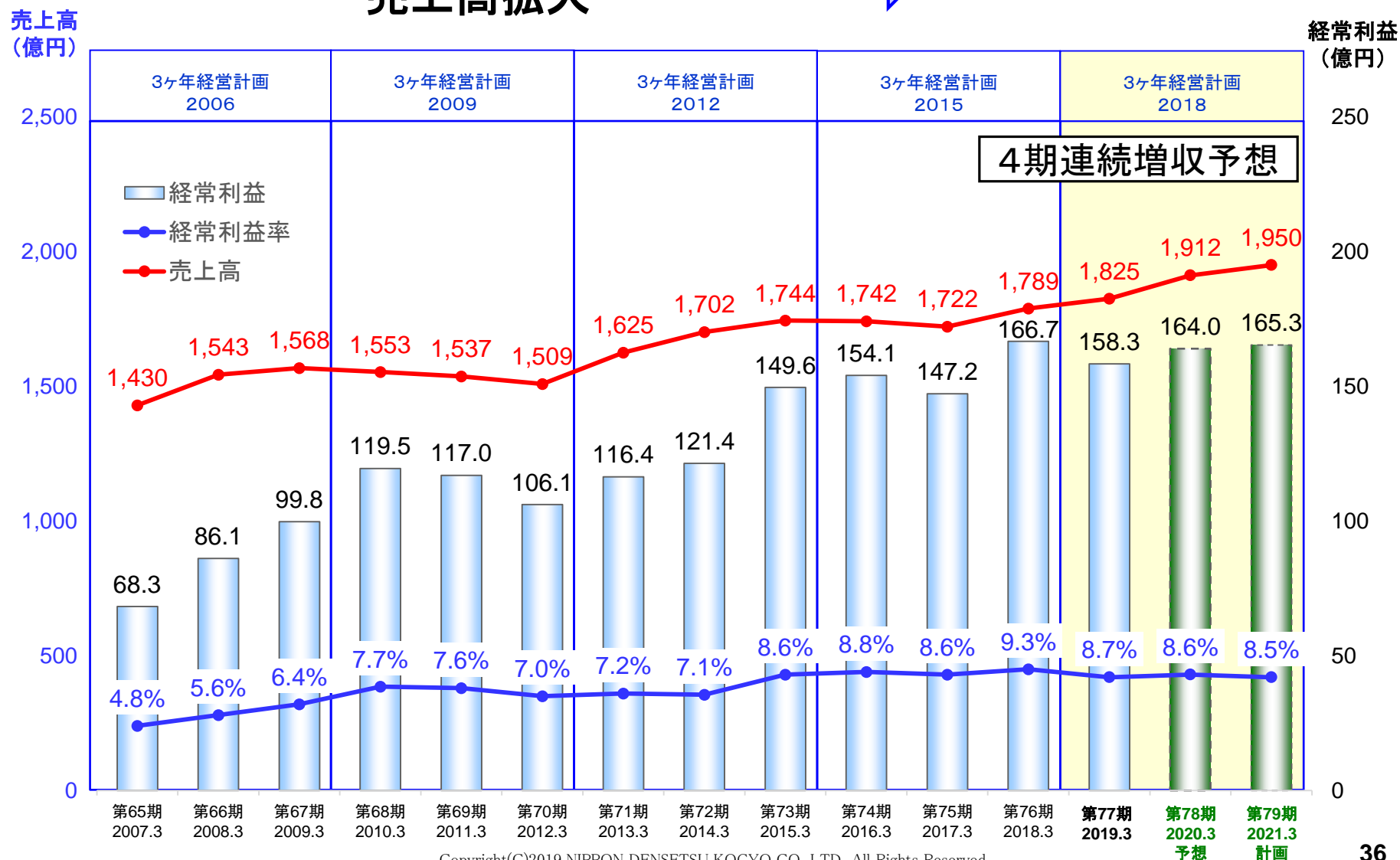
- ・ 充電電圧検出
(赤色LED点滅)
- ・ 誘導電圧等検出
(緑色LED点滅)



高い経常利益率(8%台)を維持
売上高拡大

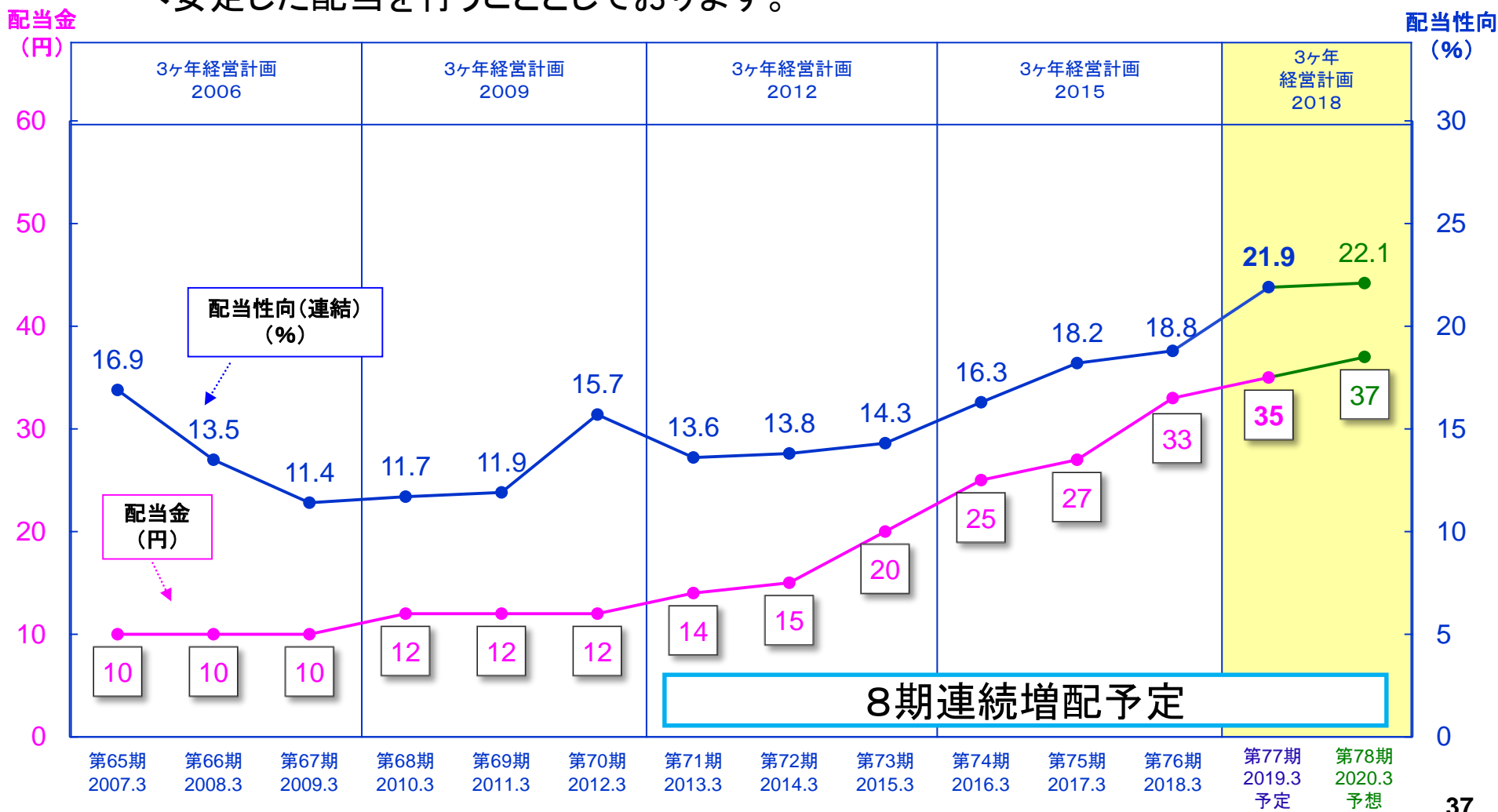


持続的成長



●利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を重要課題と認識し、利益配分については、企業体質強化のための内部留保や配当性向にも配慮しつつ、株主の皆様へ安定した配当を行うこととしております。





本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のさまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号



TEL: 03-3822-8825

FAX: 03-3822-8960

URL <http://www.densetsuko.co.jp/>